

# 「文武両道」を果たし、国公立大学合格！ 丘珠高校野球部 大野くん・中島くん インタビュー

本校41期生として今春卒業した、大野隼空くん・中島 優くんの両名は、3年間野球部に所属しながら見事に勉強との両立を果たし、4月からそれぞれ道内の国公立大学へと進学します。本校で過ごした3年間でどのように充実させてきたのか、卒業を間近に控えた2月の家庭学習期間中にインタビューを行いました。

## ★ おおのしゅんくう なかじま ゆたか 大野隼空くん・中島 優くん に話を聞きました

ー 卒業おめでとう。卒業後の進路先を教えてください。

**大野** 「北海道教育大学岩見沢校教育学部スポーツ・コーチング科学コース」です。

**中島** 「室蘭工業大学工学部機械航空創造系学科」です。



ー 本校入学前のことから教えてください。丘珠高校入学のきっかけ、理由は何ですか？

**中島** 私は小学2年のときから野球を続けてきました。中学の時に、「野球の強い公立高校」に入りたいと思っていましたし、「進路実現」ということも考えて、丘珠高校を選びました。

**大野** 私も小学生のときから野球を続けており、中学時は札幌北シニアでプレーしていました。丘珠高校は公立高校でありながら、野球の強豪校であることは知っていたので、丘珠高校で野球をして私立の強豪校を倒したいと思い、入学しました。

ー 高校時代の野球部での戦績を教えてください。

**大野** チームとしては、2年次の夏の選手権大会において南北海道大会札幌支部予選 G ブロックで優勝しました。その後の全道大会では、1回戦で当たった小樽双葉高に勝利し、悲願であった全道初勝利を果たすことができました。2回戦の札幌日大高戦には勝てませんでしたが全道ベスト8となりました。個人では、1年の秋からレギュラーとして試合に出場することができ、2年秋からは主将を務めました。

**中島** チームの成績は今話してくれた通りで、私個人としては、2年の春からベンチ入りして秋にはレギュラーとなることができました。レギュラーといっても60人近くの部員がいるので、大会ごとにメンバーが入れかわり、毎日がポジション争いの勝負でした。

ー 高校生活で最も思い出に残るシーンは何でしょうか？

**大野** やはり野球部でのことで、2年次の支部予選決勝に勝利したときが印象に残っています。また、主将として臨んだ最後の試合での敗戦時も忘れられません。

**中島** 私も部活のことで、全校応援の中で戦った試合、中でも、2年夏の全道大会が心に残っています。また、3年の春季大会は個人的にケガから明けたばかりだったので、印象に残っています。



ー これまで野球を続けてきて、また丘珠高校に入学して良かったことは何ですか？

**中島** 野球をやっていて純粋に楽しいですし、野球を通して人間的に成長できたなと思います。また、丘珠高校のような強いチームで野球ができて、スタメンを獲得しながら全道大会にも出られたことは誇りに思い

ます。毎日の練習は厳しいものでしたが、自分が確実に力がついていると実感でき、改めて「野球が楽しい」と感じられる素晴らしい部活でした。丘珠高校の仲間には努力家が多いし、フレンドリーで人格の良い人が多いという印象を、私は持っています。

**大野** 丘珠高校で野球をすることができて、最高の仲間と良い先生方に巡り合えたことが本当に良かったです。うちの野球部は、選手が高い目標と意識を持ち、自分自身を成長させることができる場だと思っています。また、野球を続けてきたことで、困難に立ち向かう強さが身につきました。

ー 野球部と勉強の両立で大変だったこと、工夫したことは何ですか？

**大野** 日々の厳しい野球の練習はもちろん大変でしたが、主将となってチームをまとめることも簡単なことではなく大変でした。そんな中でも、勉強を疎かにしないようにするために、生活の中で時間を無駄にしないように心掛けるとともに、何があっても決まった時間に勉強するようにしました。「勉強と部活の両立」ということが、高校時代で最も努力したことであると言えます。

**中島** 私が工夫したのは「集中力の使い方を変える」ことです。基本的には日々の練習で野球に集中しています。でも、テスト期間中はとにかく勉強に集中し、自分を追い込んで勉強しました。特に、テストでしっかりした成績をとることが推薦受験にもつながりますし、私も「勉強と部活の両立」が一番努力したことだと思っています。

ー 卒業後の目標は何ですか？

**中島** 大学では1人暮らしをすることになるので、アルバイトをする必要がありますし、もちろん野球も続けようと思っています。今度は野球と勉強とアルバイトの3つを掛け持ちすることになるので、生活の仕方を変えてしっかりやっとうと考えています。

**大野** 私は、高校の体育教師になって高校野球の指導者として甲子園出場・日本一になることが夢なので、教育大への進学を希望しました。



塁上でベンチを見る中島君

ー 丘珠高校の後輩へメッセージをお願いします。

**大野** 自分の過ごし方次第で、全ては良くも悪くもなると思うので、後悔しないように楽しく高校生活を過ごしてください。また私は、部活に全力を尽くしながらも普通の授業や毎回の考査を大切にすることで、推薦受験につながり、進路希望実現につながりました。みなさんも、日々の努力が結果につながっていくように願っています。

**中島** 私は特に部活の後輩へ、意味のある練習をしてほしいし、強い丘珠高校を見せてほしい！室蘭から全力で応援しています。あと、ケガをして努力が台無しになるという経験をしたので、ケガには細心の注意を払いましょう。

ー 丘珠高校への入学を考えている中学生へもメッセージをお願いします。

**中島** 公立高校で本気で野球をやろうと思うのなら、丘珠がおすすめです。楽しいぞ。

**大野** 丘珠高校は、先生方が進路に対して親身に対応してくれる学校です。また、様々な経験を通して自主性を身につけることができますし、社会人になる前に身につけるととても大きな力になると思います。ぜひ丘珠高校に入学して、3年間自分自身を磨き希望進路に向けて頑張りましょう！

ー どうもありがとうございました。今後の活躍を期待しています。